

令和8年第3回千葉市議会定例会会議録（第2号）

令和8年9月10日（木）午後1時開議

○議事日程

- 日程第1 会議録署名人選任の件
- 日程第2 議案第110号 令和8年度千葉市一般会計補正予算（第3号）
- 議案第111号 令和8年度千葉市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第112号 令和8年度千葉市競輪事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第113号 令和8年度千葉市動物公園事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第114号 令和8年度千葉市病院事業会計補正予算（第1号）
- 議案第115号 令和8年度千葉市下水道事業会計補正予算（第1号）
- 議案第116号 令和8年度千葉市水道事業会計補正予算（第1号）
- 議案第117号 千葉市保健所条例の一部改正について
- 議案第118号 工事請負契約について（（仮称）千葉市高浜保育所新築工事）
- 議案第119号 工事請負契約について（（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設新築工事）
- 議案第120号 議決事件の一部変更について（（主）生実本納線（赤井町地区）函渠整備工事（7-2）に係る工事請負契約）
- 議案第121号 市道路線の認定について

○出席議員

- | | | | |
|------|-------------|------|-------------|
| 1 番 | 石 川 美 香 君 | 2 番 | 吉 川 英 二 君 |
| 3 番 | 茂 呂 一 弘 君 | 4 番 | 岳 田 雄 亮 君 |
| 5 番 | 須 藤 博 文 君 | 6 番 | 岡 崎 純 子 君 |
| 7 番 | 黒 澤 和 泉 君 | 8 番 | 野 島 友 介 君 |
| 9 番 | 山 崎 真 彦 君 | 10 番 | 大 平 真 弘 君 |
| 11 番 | 渡 邊 惟 大 君 | 12 番 | 桜 井 秀 夫 君 |
| 13 番 | 青 山 雅 紀 君 | 14 番 | 伊 藤 隆 広 君 |
| 15 番 | 前 田 健 一 郎 君 | 16 番 | 石 川 弘 君 |
| 17 番 | 小 坂 さ と み 君 | 18 番 | 三 井 美 和 香 君 |
| 19 番 | 渡 辺 忍 君 | 20 番 | 安 喰 初 美 君 |
| 21 番 | 枇 澤 洋 平 君 | 22 番 | 守 屋 聡 君 |
| 23 番 | 蛭 田 浩 文 君 | 24 番 | 伊 藤 康 平 君 |
| 25 番 | 阿 部 智 君 | 26 番 | 松 坂 吉 則 君 |
| 27 番 | 植 草 毅 君 | 28 番 | 岩 井 雅 夫 君 |
| 29 番 | 亀 井 琢 磨 君 | 30 番 | 田 畑 直 子 君 |
| 31 番 | 川 合 隆 史 君 | 32 番 | 麻 生 紀 雄 君 |

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年第3回定例会会議録第2号（9月10日）

33 番	段 木 和 彦 君	34 番	佐々木 友 樹 君
35 番	盛 田 眞 弓 君	36 番	櫻 井 崇 君
37 番	森 山 和 博 君	38 番	酒 井 伸 二 君
39 番	小松崎 文 嘉 君	40 番	向 後 保 雄 君
41 番	宇留間 又衛門 君	42 番	中 島 賢 治 君
43 番	三 須 和 夫 君	44 番	石 井 茂 隆 君
45 番	米 持 克 彦 君	46 番	石 橋 毅 君
47 番	白 鳥 誠 君	48 番	三 瓶 輝 枝 君
49 番	中 村 公 江 君	50 番	野 本 信 正 君

○説明員

副 市 長	那 須 一 恵 君	副 市 長	橋 本 直 明 君
総合政策局長	藤 代 真 史 君	総 務 局 長	中 尾 嘉 之 君
財 政 局 長	勝 瀬 光一郎 君	市 民 局 長	市 倉 秀 子 君
保健福祉局長	秋 幡 浩 明 君	こども未来局長	大 町 克 己 君
環 境 局 長	堺 逸 樹 君	経済農政局長	安 部 浩 成 君
建 設 局 長	山 田 裕 之 君	病院局次長	柿 崎 恵 司 君
市長公室長	山 崎 哲 君	教 育 長	鶴 岡 克 彦 君
教 育 次 長	中 島 千 恵 君	代表監査委員	神 崎 広 史 君

○議会事務局

事 務 局 長	香 取 徹 哉 君	次 長	小名木 啓 一 君
議 事 課 長	安 西 雅 樹 君	議事課長補佐	佐 藤 大 介 君
議 事 班 主 査	岡 田 昌 樹 君		

○本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名人選任の件

日程第2 議案自第110号至第121号質疑、委員会付託

午 後 1 時 0 分 開 議

○議長（松坂吉則君） これより会議を開きます。

出席議員は50名、会議は成立いたしております。

諸般の報告についてはお手元に配付のとおりでございます。

諸 般 の 報 告

1 次のとおり請願の変更について、9月9日付け全議員への周知により了承された。

（1）請願第3号 「花島公園～長作町～幕張駅～海浜幕張駅間のバス運行」の維持を求める
請願

ア 署名人の変更

変更前	変更後
「花島公園・長作町・幕張駅・海浜幕張駅間のバス運行」の維持を求める会 代表 坂本 眞起子 外305名	「花島公園・長作町・幕張駅・海浜幕張駅間のバス運行」の維持を求める会 代表 坂本 眞起子 外642名

日程第1 会議録署名人選任の件

○議長（松坂吉則君） 日程第1、会議録署名人選任の件を議題といたします。

私より指名いたします。34番・佐々木友樹議員、35番・盛田眞弓議員の両議員にお願いいたします。

日程第2 議案自第110号至第121号質疑、委員会付託

○議長（松坂吉則君） 日程第2、議案第110号から第121号までを議題といたします。

質疑の通告が参っておりますので、お願いいたします。34番・佐々木友樹議員。

〔34番・佐々木友樹君 登壇、拍手〕

○34番（佐々木友樹君） 皆さん、こんにちは。日本共産党千葉市議会議員団の佐々木友樹です。

まず、8月千葉豪雨で亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

1日も早く生活と生業が取り戻せるよう望むものであります。

また、相談対応や復旧に当たられている、市職員や関係者の皆様に感謝を申し上げます。

それでは、会派を代表して議案質疑を行います。

初めに、議案第110号・令和8年度千葉市一般会計補正予算（第3号）市民会館基本設計等についてであります。

この補正予算は、J R東日本千葉支社跡地に市民会館を単独で整備することに伴う基本計画の修正が完了したことから、令和14年度の供用開始に向けた整備に着手するため、基本設計業務や基本設計監修整備事業者選定等支援業務などに係る補正予算で、令和8年度に一般財源で6,200万円、令和9年度及び10年度債務負担行為で3億7,300万円を補正するというものであります。

初めに伺いますけれども、市民意見募集を行い、多くの御意見が寄せられたと伺っておりますが、主な意見の内容や意見の内訳についてお示してください。

以降は質問席にて行います。（拍手）

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（市倉秀子君） 7月15日から8月17日までの間、基本計画案について市民意見募集を行い、151人から259件の御意見をいただきました。

最も多かった御意見は、施設機能に関するもので181件であり、主な内容は、親子が一緒に

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年第3回定例会会議録第2号（9月10日）

観賞できる環境や女性用トイレ等の諸室機能の充実、防災機能の向上、ＪＲ千葉駅からの円滑なアクセスに関するものとなっております。

次に多かったのは、スケジュール等の事業計画に関するもので23件であり、主な内容は、早期の開館を求めるものや、市財政への影響を懸念するものとなっております。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） 基本計画に係る市民意見募集で寄せられた意見を踏まえて、計画を変更されたのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（市倉秀子君） 市民の皆様からの御意見の内容等を踏まえ、施設の機能構成や施設整備における配慮事項などの記述内容の充実等を図ったところです。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） 先日記者発表されました、ＪＲ東日本千葉支社跡地における（仮称）新・千葉市民会館整備及びＪＲ東日本による開発計画の推進に関する基本協定では、千葉駅西口に近い方に整備されることとなりますが、新市民会館の利用者の動線についてどのように考えていますか。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（市倉秀子君） ＪＲ千葉駅前の好立地である敷地の利点を生かし、駅から施設まで円滑にアクセスできる動線を検討していきたいと考えております。

これにより、施設利用者が周辺にも足を運びやすくなるなど、回遊性の向上にもつなげてまいります。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。この新市民会館が整備される土地というのは、ＪＲ東日本のもともとの土地でありまして、この土地を購入した場合の想定金額はいくらなのか。

また、修正前の基本計画と比べると総事業費は膨れ上がるのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（市倉秀子君） 土地の取得に要する費用については、今後、ＪＲ東日本など関係者との協議・調整を踏まえ、整理していくこととしており、現時点でお示しできる状況にはありません。

また、総事業費については、建設コスト上昇などを踏まえると、修正前の基本計画を上回るものと見込んでおります。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。次の質問に移ります。

災害レッドゾーンに所在する高齢者施設移転改築補助事業についてであります。

これは令和8年度当初予算で設定し、令和9年度を期間とした債務負担行為の災害レッドゾーンに所在する高齢者施設移転改築補助事業について、県の補助金の補助単価増額に伴い、債務負担行為の限度額を変更するというものであります。

この事業の内容は、千葉市社会福祉協議会が運営する和陽園の敷地の一部が災害レッドゾーンにかかっており、旧千城台南小学校跡地に移転するための経費を助成するというものであります。

そこで、災害レッドゾーンに指定されたのが令和元年と伺っていますが、今回示されたの

はそれから7年経過しています。

なぜ7年もの時間がかかってしまったのか、経緯を含めてお示しください。

○議長（松坂吉則君） 保健福祉局長。

○保健福祉局長（秋幡浩明君） 特別養護老人ホームと養護老人ホームを併設する和陽園は、開設後40年以上が経過し、老朽化が進んでいたため、災害レッドゾーンの指定を受ける前の平成30年度から未利用市有地などを活用した移転整備について和陽園を運営する千葉市社会福祉協議会と協議を進めてまいりました。

令和2年度から地域住民等との意見交換を重ね、令和3年度に旧千城台南小学校跡地の活用方針として決定しました。

その後、社会福祉協議会内で施設の設計や事業計画の策定、増床公募の手続などを経て、今年度から工事に着手することとなったものです。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。市内のほかの施設で、この災害レッドゾーンにかかる施設はありますか。

○議長（松坂吉則君） 保健福祉局長。

○保健福祉局長（秋幡浩明君） 現時点で立地しているものはございません。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。次の質問に移りたいと思います。

保育士修学資金貸付についてであります。

保育の質の向上や待機児童対策、多様な保育ニーズへの対応に必要な保育士を確保するため、来年度、令和9年度から千葉市社会福祉協議会が実施する保育士の修学資金貸付事業で貸付上限額を上乗せし、上乗せ分を含めた所要の経費を補正予算として計上するものであります。

その内容は、修学に要する費用について、国の制度である月額上限5万円の貸付に加え、新たに市単独で月額上限3万円を上乗せするというもので、市内の保育施設等に5年以上勤務した場合に上乗せ分の返還を免除することとなります。

質問しますが、この間、保育士不足を理由に定員どおりに受け入れられなかった保育施設はどの程度あったのか、また、保育士が確保されていればどのくらいの児童が入所できたのか伺います。

○議長（松坂吉則君） こども未来局長。

○こども未来局長（大町克己君） 令和8年4月の一斉入所において、入所希望者がいるにもかかわらず、定員まで受け入れられなかった施設は、公立を除いた全330施設のうち81施設であり、その原因の一つは保育士不足によるものと考えております。

また、保育士が確保されていた場合の入所児童数につきましては、施設の状況にもよるため、具体的な数字をお示しすることは困難でございます。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。全体の4分の1を占めているということで、かなりの入所児童が受け入れられなかったということは想定されます。

続いて、ほかの自治体で上乗せを実施するところは近隣自治体であるのか、千葉市で上乗せと返還免除要件の追加を行うことによる効果はどう考えておりますか。

令和8年第3回定例会会議録第2号（9月10日）

○議長（松坂吉則君） こども未来局長。

○こども未来局長（大町克己君） 近隣市では、船橋市、市原市、浦安市において、本市が今回計上している内容と同等の上乗せを実施しております。

また、上乗せ等の効果についてですが、保育士を目指す学生の経済的負担の軽減が図られるほか、本市で働く保育士の安定的な確保につながることで、保育の質の向上や待機児童対策、多様な保育ニーズへの対応に寄与するものと考えております。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） 返還免除要件で、市制度分は市内保育施設等で5年以上勤務としていますが、県内他市に流れてしまわないためにも、市独自に修学資金貸付のさらなる上乗せなどを行うことについての見解を伺います。

○議長（松坂吉則君） こども未来局長。

○こども未来局長（大町克己君） 今回計上している本市独自の制度により、本市への就職促進の効果が期待できるほか、上乗せを実施している近隣自治体と同等の制度を設けることで、本市からの人材流出の抑制も期待できることから、現時点ではさらなる上乗せは考えておりません。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。次に移ります。

市立千葉高等学校における産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業、N-E. X. T. ハイスクール構想についてであります。

本年6月に、市立千葉高等学校が文部科学省の産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業に採択されたことを受け、高等学校等教育改革促進事業に係る市立千葉高等学校の取組を進めるため、学校設備・備品の整備等に係る経費を計上するとともに、事業完了予定が令和9年度となる改修実施設計について債務負担行為を設定するというものであります。

そこで、文部科学省がN-E. X. T. ハイスクール構想を進めようとする背景と、市立千葉高校で取り組まれているスーパーサイエンスハイスクールとの関係について伺います。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） N-E. X. T. ハイスクール構想は、2040年には、産業構造や社会システムの変化を踏まえた労働力需給ギャップにより、地域の経済社会を支えるエッセンシャルワーカーや理系人材の不足が懸念されることや、少子高齢化、地方の過疎化が一層深刻化していることなどを踏まえ、アドバンストエッセンシャルワーカー等育成支援、理数系人材育成支援、多様なニーズに対応した教育機会の確保の3類型により進められています。

市立千葉高等学校は、その中でも理数系人材育成支援の拠点として申請し、採択されたところです。

市立千葉高等学校で行われているスーパーサイエンスハイスクールは、理数科や普通科、スーパーサイエンスハイスクールコースを選択した生徒を対象に、将来社会を牽引する科学技術人材の育成を目指して取り組んでいます。

一方、N-E. X. T. ハイスクール構想では、普通科全ての生徒を対象に、理数系分野に必要な資質・能力を育むことで、理系進学者の拡大など理数系人材の裾野を広げることを目指して取り組む予定です。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。この事業は令和8年度から令和10年度までの事業とされております。

文部科学省の資料等によれば、経済成長に資する人材育成を掲げ、改革を先導する拠点校として、1都道府県当たり上限金額約62億円を交付するとされております。

令和10年度までで、市立千葉高校は総額幾らの事業となる見込みなのでしょうか、伺います。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 事業費の総額として、約11億1,000万円を文部科学省に申請し、同額を上限額として採択されております。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。この事業を実施することによる千葉市の高等教育の将来像はどう考えていますか。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 本事業では、生徒一人一人が自らの興味関心に沿った探究テーマを設定し、そのテーマについてデータサイエンスを用いて科学的に探究するプログラムを新たに設け、データ分析や科学的思考を用いて主体的に課題解決に向けてアプローチできる人材の育成を目指しています。

本事業により、理数系人材育成の拠点として科学的な探究プログラムを着実に進めるとともに、将来的に本市の高校教育を通じて変化の激しい現代社会で活躍できる理数系人材を多数輩出することを目指してまいります。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。次の質問に移ります。

議案第110号・令和8年度千葉市一般会計補正予算（第3号）、議案第113号・令和8年度千葉市動物公園事業特別会計補正予算（第1号）、議案第114号・令和8年度千葉市病院事業会計補正予算（第1号）、議案第116号・令和8年度千葉市水道事業会計補正予算（第1号）についてです。

市有施設電力調達についてであります。

令和8年度に、清掃工場における余剰電力の市有施設への自己託送や再エネ電力を調達すること等により、基本的に全ての市有施設の電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロを達成したとのことであります。

しかし、北谷津清掃工場では、助燃材としてコークスを使い、CO₂を排出し、環境にも影響していることは厳しく指摘しておきたいと思います。

この補正予算は、令和9年度も継続するため、調達の準備期間が必要で、11月末までに小売電気事業者を決定しなければならないため、債務負担行為を設定するというものであります。

そこで、令和8年度の自己託送や再エネ電力、太陽光発電における現時点での財政効果はどのように上がっていますか。

また、これまで清掃工場からの売電を行ってきましたが、そのことによる収入との比較はどうか伺います。

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年第3回定例会会議録第2号（9月10日）

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（堺逸樹君） 自己託送等の本年6月分までの実績においては、財政効果としておむね順調に推移しております。

また、自己託送により売電収入は減少しますが、購入する電力の総量も減少することで、全体の電力コストは削減されております。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。小売電気事業者との間で再エネ電力の契約を結ぶに当たって、これまでの経費との比較では負担は増えているのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（堺逸樹君） 一般電力から再エネ電力に切り替えたことにより、電力単価は上がっておりますが、自己託送により購入する電力量が大きく減少するため、全体の電力コストは削減されております。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） 今後、年度途中での債務負担行為を設定して契約するのではなく、当初予算で債務負担行為を設定し、契約する方向性については検討されていますか。

○議長（松坂吉則君） 環境局長。

○環境局長（堺逸樹君） 債務負担行為限度額の算定に必要となる電力量の積算に当たり、運用実績を踏まえた一定の見込みが立てられる段階において、当初予算での債務負担行為設定を検討してまいります。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。次に移ります。

議案第114号・千葉市病院事業会計補正予算（第1号）、千葉市立病院事業のあり方検討についてであります。

この補正の理由は、令和7年度決算で医業収益の赤字が拡大するなど、市立病院の経営が厳しい状況にあり、持続可能な病院経営の実現に向けて大規模な改革に取り組む必要があるとし、今、国で新たな地域医療構想ガイドラインが策定されるなど、市立病院を取り巻く環境の変化を踏まえ、果たすべき役割や機能の見直しなど病院の在り方を検討することから、あり方検討委員会委員報酬26万円、委託料の増額で274万円、合計300万円を補正しようとするものであります。

まず、市立病院の医業収支の赤字が拡大していることについて、改めてその要因と収支改善に向けた取組について伺います。

○議長（松坂吉則君） 病院局次長。

○病院局次長（柿崎恵司君） 医業収支の赤字拡大の主な要因は、診療報酬が近年の物価高騰や労務単価の上昇に見合っていないことや、新病院開院に向けた人員の確保に係る給与費の増加などによるものと分析しております。

また、収支改善の取組は、新病院での診療体制強化による収益の増加や、スケールメリットを生かした医薬品や診療材料の調達推進などにより、費用の削減に努め、収支の改善を図ってまいります。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） 補正の理由にあります新たな地域医療構想ガイドラインで示されて

いる役割や機能の見直しはなぜやるのか、内容について示していただきたいと思います。

○議長（松坂吉則君） 病院局次長。

○病院局次長（柿崎恵司君） 国のガイドラインでは、2040年頃に向けて、増加する高齢者救急や在宅医療の需要への対応、医療の質や医療従事者の確保、地域における必要な医療機能の維持が求められる中、2040年やその先を見据え、医療機関の役割分担を明確化し、医療機関機能に着目した医療機関の連携・再編・集約化を推進することとしております。

このことから、本市においても、厳しい経営状況を踏まえながら、将来にわたり地域に必要な医療を確保していくために担うべき役割や機能の見直しについて検討することとしております。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。市立病院の役割ですとか、この機能の見直しの内容による効果、経営上の問題など、考えられる影響はあるのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 病院局次長。

○病院局次長（柿崎恵司君） 市立病院の役割や機能の見直しにより、2040年頃に向けた医療課題に対応できるほか、医業収支の改善につながる効果を期待しております。

一方で、役割や機能を縮小する方向性となった場合には、業務運営に重要な職員のモチベーションへの影響も懸念されることから、職員の経営に関する意識改革に取り組む必要があるものと考えております。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。次の質問に移ります。

議案第115号・令和8年度千葉市下水道事業会計補正予算（第1号）、継続費の補正、雨水貯留槽整備事業（弁天3丁目地内）についてであります。

補正の理由は、中央区弁天3丁目地内、千葉公園内で実施している雨水貯留槽の整備事業において、掘削土砂の処分方法の変更や現場状況に対応した水中コンクリート等の仕様変更、物価高騰によるインフレスライド対応により、継続費の総額、年割額及び事業の期間の変更が必要となったため、継続費の補正を行うというものであります。

8月13日の令和8年8月千葉豪雨では、雨水貯留槽の限界を超える水量により被害が広がったことも報じられています。

そこで伺います。

まず、補正額の内訳で、水中コンクリート等の仕様変更を行ったとしていますが、水中コンクリートへの仕様変更を行った主な理由についてお示してください。

また、これまでどおり1時間当たり65.1ミリメートルの降雨に対応する構造なのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山田裕之君） 水中コンクリートの打設は、構造物の一体性や止水性を確保するため、昼夜連続施工を予定しておりましたが、供給メーカーの事情により昼間施工のみとなり、コンクリートの打設間隔が長くなるため、固まる時間を調整することが可能な仕様へ変更するものでございます。

貯留槽は、1時間当たり65.1ミリメートルの降雨に対応する施設となります。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年第3回定例会会議録第2号（9月10日）

○34番（佐々木友樹君） はい。この雨水貯留槽を整備することによる効果について改めて伺います。

また、千葉豪雨によりカフェハーモニーやJPFドームYohaSアリーナへの浸水被害がありましたが、整備により浸水被害の軽減は図られるのでしょうか、伺います。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山田裕之君） 貯留槽の容量は約9,700立方メートルとなっており、25メートルプール約24杯分の浸水被害の軽減が図られます。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） 他の貯留槽では、想定を上回る雨水であふれたということも伺っておりますが、再度、この千葉豪雨のような豪雨が発生した場合に雨水貯留槽は耐えられるのか、さらなる浸水対策施設の整備についての見解を伺います。

○議長（松坂吉則君） 建設局長。

○建設局長（山田裕之君） 貯留槽は、1時間当たり65.1ミリメートルの降雨に対応する施設として整備しております。

当該地区につきましては、この貯留槽に加え、その他の浸水対策施設についても整備する計画となっております。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） 軽減が図られるようにしていただきたいと思います。

次に、議案第118号・工事請負契約について（（仮称）千葉市高浜保育所新築工事）についてであります。

公立保育所の施設管理に関する基本方針に基づき、（仮称）千葉市高浜保育所として千葉市高洲第二保育所の建て替えを行うものであります。定員は80名としています。

これまで、高洲第二保育所と旧高浜第一保育所の定員は、それぞれ80名、90名と伺っていましたが、今回80名定員とした経緯についてお聞きします。

○議長（松坂吉則君） こども未来局長。

○こども未来局長（大町克己君） （仮称）高浜保育所の定員につきましては、周辺地域の就学前児童数や両保育所の入所児童数のほか、周辺の民間保育施設の入所児童数等の推移を踏まえ、将来的な保育需要に対応した適正な規模として80名に設定いたしました。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） 高洲第二保育所においては、それまでの高浜第一保育所からの児童の受入れということもありまして、外国籍の就学前児童や保護者への通訳などが対応されていると聞いております。

現在、高洲第二保育所で行われている保育などについて、継続できる施設整備が重要と考えます。

新築される（仮称）高浜保育所においては、どのように対応されるのか伺います。

○議長（松坂吉則君） こども未来局長。

○こども未来局長（大町克己君） 現在、高洲第二保育所で実施している保育などの対応につきましては、新園においても継承する必要があると考えており、入所児童の年齢に応じた保育室の配置や一時預かり事業についても必要な整備を行い、適切に対応してまいります。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。では、最後の質問になります。

議案第119号・工事請負契約について（（仮称）千葉市千城台公民館・若葉図書館複合施設新築工事）についてであります。

現在の千葉市千城台公民館及び若葉図書館の老朽化に伴い、複合施設として新築工事を行うおうとするものです。

現在の千城台公民館と若葉図書館の延べ床面積について、従前と新築を比べてどうなるのか、また、建物のコンセプトについて工夫した点はあるのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 延べ床面積につきましては、施設の複合化により、階段、廊下等の共用スペースが減少することなどにより、2,181平方メートルから1,992平方メートルへ1割程度縮減する計画としております。

また、建物のコンセプトで工夫した点につきましては、公民館では調理室や和室の専用室を見直し、多目的利用が可能な諸室にするとともに、図書館では読書に集中できる読書スペースのほか、パソコンなどの作業ができるワーキングスペースや、会話をしながら読書が楽しめたり、学習したりできるグループスペースを配置するなど、多様な利用ニーズに対応できる計画としております。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） 新しい施設は複合施設にすることで、1階に図書館機能、2階に公民館機能があり、公民館から図書館への音漏れが懸念されますが、どのような配慮をしていますか。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 公民館の壁や床を遮音構造とするとともに、大人数でのイベント利用が想定されるホールを図書館の利用スペースから離れた北側に配置するなど、図書館への音漏れの影響を抑えるよう配慮した計画としております。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） 入札について伺います。

松栄・鶴沢建設共同企業体のみの入札となったことについての評価、今後の入札についての改善点はあるのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 財政局長。

○財政局長（勝瀬光一郎君） 本案件は、制限付き一般競争入札で発注し、公告により広く入札参加者を募ったことで、入札参加の機会は十分に確保されていたと考えております。

入札参加者が1社だったことについては、事業者が工事の施工条件や技術的難度、事業者の技術者数や受注状況のほか、資材価格の動向など、様々な要因を勘案し、判断した結果と考えております。

また、今後の入札の改善についてですが、近年の入札の辞退理由として、技術者などの人材の確保が困難であることが多く挙げられていることから、現場代理人の配置基準の緩和や発注時期の平準化の推進、余裕期間制度の導入など、事業者が入札参加しやすくなるよう取り組んでいるところであり、引き続き改善に努めてまいります。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。最後に、これまでモノレール千城台駅近くにあったこの施設

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年第3回定例会会議録第2号（9月10日）

ですけれども、そこから遠くなるため、利用者の利便性について、コミュニティバスのコース変更などを行って、高齢者や障害者が利用しやすくするべきではないでしょうか、見解を伺います。

○議長（松坂吉則君） 教育次長。

○教育次長（中島千恵君） 昨年度、バス事業者に対して、移転の時期や利用者数の推移などの情報提供を行いました。

また、図書館利用者に対してアンケートを行ったところ、移転後の若葉図書館へバスを利用するとの回答は1割程度でございました。

利用者の交通手段につきましては、今後も状況を把握しつつ、庁内関係部署と連携を図りながら、引き続き検討を進めてまいります。

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員。

○34番（佐々木友樹君） はい。以上で私の質疑を終わりにしたいと思います。

明日からの常任委員会で、詳細については審議を行ってまいります。

御清聴いただき、ありがとうございました。（拍手）

○議長（松坂吉則君） 佐々木友樹議員の質疑を終わります。

質疑を続けます。7番・黒澤和泉議員。

〔7番・黒澤和泉君 登壇、拍手〕

○7番（黒澤和泉君） 皆さん、こんにちは。無所属の黒澤和泉です。

まず、議案第110号・令和8年度千葉市一般会計補正予算（第3号）のうち、特別養護老人ホーム整備について伺います。

建築資材価格の高騰等により資金計画を見直すとともに、建物の構造を見直すことで建築費を抑え、居室面積の確保にもつながったとのことですが、今回どのような構造上の見直しを行い、建築費や居室の使いやすさにどのような効果があったのか、また、総事業費と今後の整備スケジュールについて伺います。

以降は、質問席にて行います。（拍手）

○議長（松坂吉則君） 答弁願います。保健福祉局長。

○保健福祉局長（秋幡浩明君） 今回の見直しは、建物構造をラーメン構造から壁式構造へ変更したものであり、柱やはりではなく、壁と床の面で支える方式としたものです。

整備事業者の説明によれば、室内に柱やはりが出なくなることで、ベッドや家具などの配置がしやすくなったほか、断熱性や遮音性も向上したとのことでした。

総事業費は、当初の計画から3,000万円程度抑えた26億7,000万円となっており、建物資材価格の高騰等による資金計画の見直しに時間を要したため、竣工時期は当初の令和9年1月から約1年後の10年2月を予定しております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 次に、市民会館基本設計等について伺います。

新しい市民会館については、令和3年の基本計画では、建設費や設計費、土地取得費、基盤整備費など合わせて約120億円とされてきました。

その後、昨年6月には建設費と土地取得費を合わせて約250億円とされ、今回の基本計画では、土地取得費等を含まない建設工事費だけで約280億円とされています。

つまり、単純に120億円が280億円になったという比較はできませんが、少なくとも昨年は

土地取得費まで含めて250億円だったものが、今回は土地取得費を含まず、建設工事費だけで280億円となっています。

そこで、まず、これまでの計画変更や物価上昇などによって、何にどの程度費用が増えたのか、また、令和7年6月の土地取得費を含めた事業費約250億円に対し、現在は土地取得費を含まず約280億円となった理由について伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（市倉秀子君） 建築資材価格や労務単価が上昇する中、今回の基本計画の策定におきまして、施設の規模や機能を精査し、直近に整備された同種施設の建築単価を参考に算出した結果、土地取得費等を除く概算建設工事費を約280億円と見込んだものです。

また、昨年6月にお示しした約250億円は、市有地との比較検証を行うために算出したものであり、今回の約280億円とは算定の条件が異なります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） ただ今、250億円と280億円では算定条件が異なるとの答弁がありました。しかし、だからこそ確認したいのは、建設費そのものがこの間にどれだけ増えたのかという点です。昨年の250億円には土地取得費が含まれていますので、建設費は250億円より少ないはずです。

一方、現在は建設費だけで280億円です。

そこで、建設費は令和7年6月時点からどの程度増加したのかを把握しているのか、また、その要因について伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（市倉秀子君） 昨年6月にお示しした約250億円は、市有地との比較検証を行うために算出したものであり、今回の約280億円とは算定の条件が異なっております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） なお、今、市有地との比較検証との答弁がありましたが、昨年の250億円は市有地案ではなく、今回と同じJR東日本千葉支社跡地での建設費と土地取得費を合わせた金額です。

昨年は、JR跡地の方が市有地より約15億円有利であることも判断材料とされていましたが、現在は同じJR跡地で土地取得費を含まない建設費だけで約280億円となっています。

それでも、JR跡地での整備が最も適切であるという判断に変わりはないのか、伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（市倉秀子君） 新たな市民会館の整備場所につきましては、利用者のアクセス性や千葉都心の活性化への寄与などを踏まえ、JR東日本千葉支社跡地が引き続き最も適切であると考えております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） ただいま、アクセス性や千葉都心の活性化への寄与などから、引き続きJR東日本千葉支社跡地が最も適切との答弁がありました。

一方、私が確認したいのは、昨年、場所を決める際に使った費用の前提が変わった現在、同じ比較を改めて行ったのかどうかです。

そこで、現在の事業費を前提として、当時の比較を改めて検証したのか、また検証してい

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年第3回定例会会議録第2号（9月10日）

ない場合には、現在もＪＲ東日本千葉支社跡地が最も適切であると判断する根拠について伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（市倉秀子君） 整備場所につきましては、昨年6月にＪＲ東日本千葉支社跡地と市有地の比較検証を行い、ＪＲ東日本千葉支社跡地で整備することを決定した後に、今回の基本計画策定の中で、当該用地において想定される概算建設工事費を算出しているところです。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） ただいまの答弁では、昨年6月に整備場所を決め、その後に今回の約280億円を算出したとのことでした。

つまり、現在の事業費を前提にした比較はしていないということだと理解しました。

次に、市の財政負担について伺います。

昨年6月時点では、総事業費や市の負担をどの程度と想定していたのか、また、現在の事業費を前提としても整備を進めるという判断に変わりはないのか、伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（市倉秀子君） 昨年6月時点では、市有地との比較検証を行うために算出した結果、概算整備費として約250億円と想定したものです。

具体的な本市の負担額については、今後、事業費の精査と併せ、交付税措置のある地方債など活用可能な財源を踏まえて検討していくこととしており、整備を進めるという判断に変わりはありません。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） ただいまの答弁では、具体的な市の負担額については、今後、事業費を精査し、地方債などの財源を踏まえて検討していくとのことでした。

一方で、整備を進めるという判断に変わりはないとのことでした。

そこで、次に伺います。

大規模な公共施設の整備では、必要な機能を考えることと同時に、市としてどの程度までなら負担できるのかという判断も必要だと考えます。

総事業費がどの程度までであれば、整備を進めることができているのか、また、総事業費が想定を大きく上回った場合は、どのような基準で規模や仕様を見直すのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（市倉秀子君） 現時点で事業費の上限や見直しの基準は定めておりませんが、今後、基本設計の中で必要な機能や規模を検討しながら、事業費を精査してまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） ここで、市長のこれまでの説明との関係を確認します。

市長は昨年、この事業について、長期的な財政計画の中で十分負担できる範囲、と説明しています。

一方、これまでの答弁では、具体的な市の負担額はこれから検討する、事業費の上限も、見直し基準も定めていないということでした。

そこで、具体的な市の負担額や事業費の上限が定まっていない中で、十分負担できると判断している根拠は何か、また、事業費はこの事業を進めるかどうかを判断する基準の一つなの

か、それとも整備することを前提として事業費を精査していくという考え方なのか、伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（市倉秀子君） 整備場所については、昨年6月に概算整備費とともに、利用者のアクセス性や千葉都心の活性化、防災機能への寄与などを踏まえて判断したものです。

基本計画の中では、想定事業費として建設工事費を約280億円と算定しておりますが、事業費については、今後、基本設計の中で精査するとともに、交付税措置のある地方債などの活用を検討により、財政負担の軽減を図ってまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 最後に、今回の議決が意味する範囲について確認します。

現時点では、建設工事費として約280億円が示されているものの、土地取得費や基盤整備費を含めた事業全体の費用は明らかになっていません。

そこで、今回の議案では、土地取得費、基盤整備費等を含めた事業全体の予算を議決するものではないという理解でよいのか、また、今後の議会審議の機会について伺います。

○議長（松坂吉則君） 市民局長。

○市民局長（市倉秀子君） 今回の補正予算は、基本設計等の予算について御審議いただくものです。

実施設計や建設などにかかる費用については、予算化の段階で議会で御審議いただきます。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 次に、議案第111号・令和8年度千葉市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）、介護給付費負担金等返還金・介護給付準備基金積立金についてです。

第9期介護保険事業計画では、介護給付費の増加を見込み、65歳以上の方が支払う介護保険料の基準月額を5,400円から6,300円へ引き上げる一方、第8期末の介護給付準備基金約16億円についても、第9期の3年間で全額活用して保険料の上昇を抑えろとの考え方が示されていました。

ところが、今回の補正後には、基金残高が約33億4,000万円となる見込みです。

所管の説明では、介護給付費が計画より少なかったことに加え、国の調整交付金が見込みを上回ったことなどが要因とのことでした。

市は、この計画時の見込みと実績との差をどのように評価しているのでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 保健福祉局長。

○保健福祉局長（秋幡浩明君） 第9期介護保険事業計画の計画期間であります令和6年度から3年間の給付費等の見込みを、その伸び率などから推計したものであり、6・7年度の保険給付費執行率は98.6%と、おおむね見込みどおりとあることから、計画時の見込みと大幅な乖離はないと認識しております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 今回、基金残高は約33億4,000万円となる見込みですが、市は第10期介護保険事業計画における介護保険料の設定に当たり、この基金をどのように活用し、市民の保険料負担の軽減につなげていく考えでしょうか。

○議長（松坂吉則君） 保健福祉局長。

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年第3回定例会会議録第2号（9月10日）

○保健福祉局長（秋幡浩明君） 基金残高の見込みやサービス需要も踏まえながら、次期計画期間の保険料を算定する際に、基金の活用についても検討してまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 次に、議案第112号・令和8年度千葉市競輪事業特別会計補正予算（第1号）、千葉サイクル会館大規模改修継続費についてです。

今回、千葉サイクル会館の大規模改修について設計を見直すことになった理由、これまでの計画からの主な変更内容及び改修後の想定使用期間について伺います。

○議長（松坂吉則君） 経済農政局長。

○経済農政局長（安部浩成君） 業界標準システムへ移行する際には、千葉JPFドーム内にサーバーなど関連設備の増設に必要なスペースを確保するため、公営事業事務所の執務室を千葉サイクル会館へ移転することになり、執務室としての機能やシステム環境の整備、セキュリティ対策など設計変更の見直しが必要となるためです。

また、想定使用期間ですが、千葉サイクル会館は計画的保全対象施設であり、大規模改修を行うことで、築後60年を超えてさらに長く使用することを目指しております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 令和12年度以降、競輪開催時の選手宿泊所として年間どの程度の利用を見込んでいるのか伺います。

また、競輪開催時以外も含め、どのように有効活用していく考えなのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 経済農政局長。

○経済農政局長（安部浩成君） 令和12年度の250競走再開後は主に選手宿舎として年間150日程度使用する予定です。

また、競輪を開催しない日については、部屋の貸し出しや団体宿泊の受入れなど、一般利用の促進も引き続き検討してまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 新たな基幹システムは令和10年度から稼働予定ですが、250競走については、令和12年度をめどに開催可能となる対応が検討されています。

この250競走本格再開について、現時点でどこまで具体化しているのか、また、市が実現可能と判断している根拠について伺います。

○議長（松坂吉則君） 経済農政局長。

○経済農政局長（安部浩成君） 令和12年度に250競走を再開することについては、業界関係団体において合意済みでございます。

その上で、制度、ルールなどについて業界関係団体と詳細な協議を進めているところです。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 250競走へのシステム対応に伴う費用は、JPFとの収益保証の仕組みの中でどのように扱われるのか、また、現在の全国競輪施行者協議会への分担金とは別に、本市に新たな財政負担が生じる可能性があるのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 経済農政局長。

○経済農政局長（安部浩成君） 業界標準システムへの接続費用については、車券売上等事業収入によって賄われるところですが、接続費用を含め250競走開催に係る経費が事業収入を上

回った場合は、その差額を包括委託先企業が収益保証により負担することとなっており、本市に新たな財政負担が生じることはございません。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 今回、大規模改修を行い、千葉サイクル会館を長期間保有・活用していくことが妥当と判断した考え方について伺います。

また、令和12年度の本格再開が予定どおり実現しなかった場合、改修が過大な投資となるリスクをどのように評価しているのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 経済農政局長。

○経済農政局長（安部浩成君） 年間を通して安定的に公営競技を行うためには、業界のガイドラインに基づく専用の選手宿舎の整備が必要であり、そのためには千葉サイクル会館を大規模改修し、管理・運営していくことが最も効率的であると考えております。

先ほど述べましたとおり、令和12年度の再開は業界関係団体との合意事項であり、そこから逆算すると、9年度、10年度に大規模改修を行い、11年度には改修後の施設において開催準備を行う必要があると考えております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 最後に、議案第114号・令和8年度千葉市病院事業会計補正予算（第1号）、千葉市立病院事業のあり方検討についてです。

市立病院では、病床稼働率や診療単価の向上、救急搬送の受入れなど様々な経営改善に取り組んできた一方、令和7年度の医業収支は約75億円の赤字となっています。

これまでの取組で改善した点と、それでも赤字が拡大している主な要因について伺います。

○議長（松坂吉則君） 病院局次長。

○病院局次長（柿崎恵司君） これまでの取組で改善した点ですが、週間プロジェクト活動や開業医訪問などにより、地域医療機関との連携を強化したことで、令和7年度の病床稼働率は75.6%となり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前である元年度の74.5%を上回る水準まで改善したことなどが挙げられます。

赤字が拡大している主な要因は、物価や人件費の高騰に伴い、医業費用が増加したことなどによるものと考えております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 市立病院への一般会計からの繰入金は、令和3年度の約52億円から令和8年度には約76億円となり、今後は令和11年度に年間100億円を超える可能性があるとのことです。

なぜこれほど増加する見込みなのか、また、救急、周産期、小児、感染症など市が担うべき医療に必要な負担と、経営悪化によって増加する負担を市としてどのように捉えているのか、伺います。

○議長（松坂吉則君） 病院局次長。

○病院局次長（柿崎恵司君） 繰入金が増加する理由は、診療報酬が近年の物価高騰や労務単価の上昇に見合っていないことで収支が悪化したことに加え、新病院の整備に伴う企業債の償還が新たに必要となることが理由と考えております。

増加する繰入金への認識ですが、病院事業への繰入金が毎年増加することは、本市の財政

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年第3回定例会会議録第2号（9月10日）

を圧迫する深刻な課題として認識しております。

このため、診療報酬の大幅なプラス改定や地域医療の確保・維持のために必要な交付金や補助金などの措置の拡充などを引き続き国に要望するほか、市立病院事業のさらなる見直しを推進し、赤字の縮小に取り組んでまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 今回のあり方検討では、現在の経営形態だけでなく、地方独立行政法人化や指定管理者制度、県立病院との連携・統合、民間病院との役割分担なども選択肢になり得るとのことです。

市民に必要な医療を維持しながら経営を持続可能なものとするため、今回どこまで踏み込んで検討するのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 病院局次長。

○病院局次長（柿崎恵司君） あり方検討では、継続すべき政策的医療の在り方や回復期機能の必要性、最適な病床規模、経営形態の検討などが論点になるものと考えております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 今回、274万円を追加する経営改善支援業務では、医療需要や財務状況、適正な病床数、経営形態などについて外部事業者から提案を受けるとのことです。

その提案をそのまま前提とするのではなく、あり方検討委員会で幅広い議論が行われることをどのように担保するのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 病院局次長。

○病院局次長（柿崎恵司君） あり方検討に伴う支援業務では、患者の受療動向や医療機関の分布状況の調査、市立病院事業の財務分析、他病院の事例の整理など考えており、あり方検討委員会で幅広い議論が行えるよう、必要なデータ等を提供して参りたいと考えております。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 経営改善は必要ですが、赤字を減らすことだけが目的ではなく、市民に必要な医療を持続可能な形で守ることが重要です。

今後、さらに厳しい選択が必要になった場合でも、救急、災害、感染症、周産期、小児医療など、市立病院だからこそ担うべき医療について、市として何を守っていく考えなのか伺います。

○議長（松坂吉則君） 病院局次長。

○病院局次長（柿崎恵司君） 市立病院の果たすべき役割は、市民が必要とする医療を地域で切れ目なく提供すること、救急、小児、周産期、災害、感染症など政策的医療を提供することであると認識しております。

しかしながら、市立病院事業を持続させるためには、一定程度の役割や機能を見直す必要があるため、市立病院の果たすべき役割を踏まえ、本市として何を守るべきかを含めて、市民への影響を考慮しながら、病院事業のあり方検討委員会の中で検討を進めてまいります。

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員。

○7番（黒澤和泉君） 私からの議案質疑は以上です。御答弁ありがとうございました。（拍手）

○議長（松坂吉則君） 黒澤和泉議員の質疑を終わります。

以上で質疑を終わります。

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和8年第3回定例会会議録第2号（9月10日）

お諮りいたします。ただいま議題となっております、議案第110号から第121号までを、配付してあります議案付託一覧表記載の委員会に付託いたしたいと存じますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松坂吉則君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

議案付託一覧表を添付

○議長（松坂吉則君） 以上で本日の日程は終了いたしました。

次会は15日午後1時から会議を開きます。

本日はこれをもって散会いたします。御苦労様でした。

午 後 1 時 59 分 散 会

地方自治法第123条第２項の規定により署名する。

千葉県議会議長

松 坂 吉 則

千葉県議会議員

佐々木 友 樹

千葉県議会議員

盛 田 眞 弓